

下田総合庁舎 定例記者懇談会資料

令和6年2月22日

賀茂地域局

次回の定例記者懇談会
令和6年3月22日（金）
午前9時30分から
会場：賀茂キャンパス

目 次

◎重要施策発表

賀茂地域における高血圧者へのアプローチ	1
	(賀茂健康福祉センター)

【別紙1】 県民だより10月号

【別紙2】 スーパー協働事業評価

【別紙3】 高血圧啓発チラシ

◎令和6年3月の行事予定

行事予定表	17
-------	----

賀茂地域職場体験バスツアーの開催	19
	(賀茂地域局地域課)

地域おこし協力隊交流会の実施について	21
	(賀茂地域局地域課)

賀茂キャンパス活用プログラム「静岡県立大学 社会人講座」第36回講座	23
	(賀茂地域局地域課)

令和5年度 津波避難訓練	25
	(賀茂地域局危機管理課)

防災講座の開催	27
	(賀茂地域局危機管理課)

松崎町で減塩キャンペーンを実施します	28
	(賀茂健康福祉センター)

工事安全パトロールの実施	29
	(賀茂農林事務所)

2024年上半期の定置網漁海況予測	30
	(水産・海洋技術研究所伊豆分場)

消費者教育出前講座の実施(高校生等)	31
	(賀茂広域消費生活センター)

【別紙4】 伊豆半島住む人・来る人感謝祭 in 川の駅

定例記者懇談会構成員名簿

	役職名	氏名
1	賀茂地域局長	しらとり みちひろ 白鳥 満啓
2	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	ぬまの かつし 沼野 克史
3	伊豆観光局長	いちかわ けん 市川 顯
4	下田財務事務所長	かみや あきよし 神谷 明良
5	賀茂健康福祉センター所長	すずき ふじお 鈴木 藤生
6	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健所長	ほんま よしゆき 本間 善之
7	賀茂農林事務所長	もろた りょう 諸田 僚
8	農林技術研究所伊豆農業研究センター長	たねいし もとひろ 種石 始弘
9	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	よしかわ やすお 吉川 康夫
10	下田土木事務所長	とつか ひろふみ 戸塚 博文
11	賀茂広域消費生活センター所長	くらしま ひろあき 倉島 浩彰
12	賀茂地域教育振興センター参事	つちや かずみ 土屋 一巳
13	賀茂地域局次長兼地域課長	しらつち たつお 白土 達夫
14	賀茂地域局参事兼危機管理課長	すずき かなめ 鈴木 要

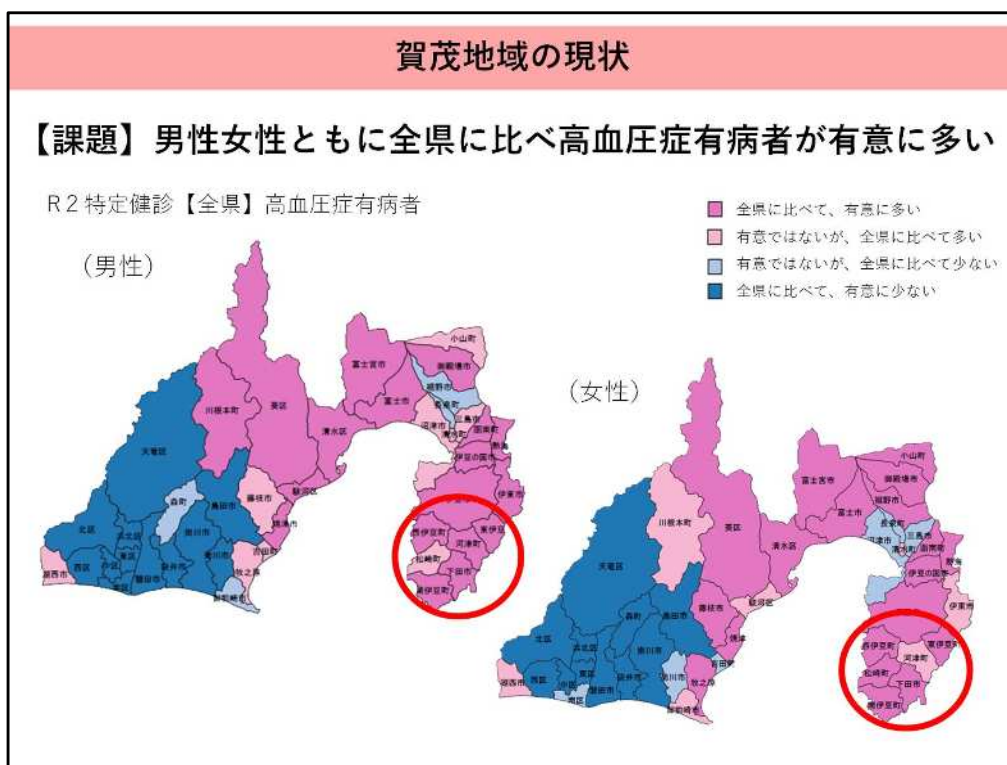
賀茂地域における高血圧者へのアプローチ



静岡県賀茂健康福祉センター健康増進課
令和6年2月22日（木）定例記者懇談会

賀茂健康福祉センター健康増進課から、賀茂地域の住民の健康課題となっている「高血圧症」の対策の中から、特に今年度の取組の目玉である「**減塩・排塩に関するスーパー等と協働した取組**」について紹介する。

こちらは今年度マックスバリュエクスプレス河津店及び河津町と協働で行ったキャンペーンで設置した「**減塩ワゴン**」の写真である。



まず、こちらの令和2年度特定健診データから分析した、県内各市町の高血圧有病者の状況を色で示したマップを御覧いただきたい。**賀茂地域が男性・女性ともに県内の他市町に比べて有意に多い濃いピンク色になっている**ことがわかる。

賀茂地域の住民の健康寿命を伸ばすため、保健指導等によるハイリスクアプローチや、減塩対策・野菜摂取を推奨するポピュレーションアプローチにより、より一層の対策が必要である。

※令和2年度データが最新値

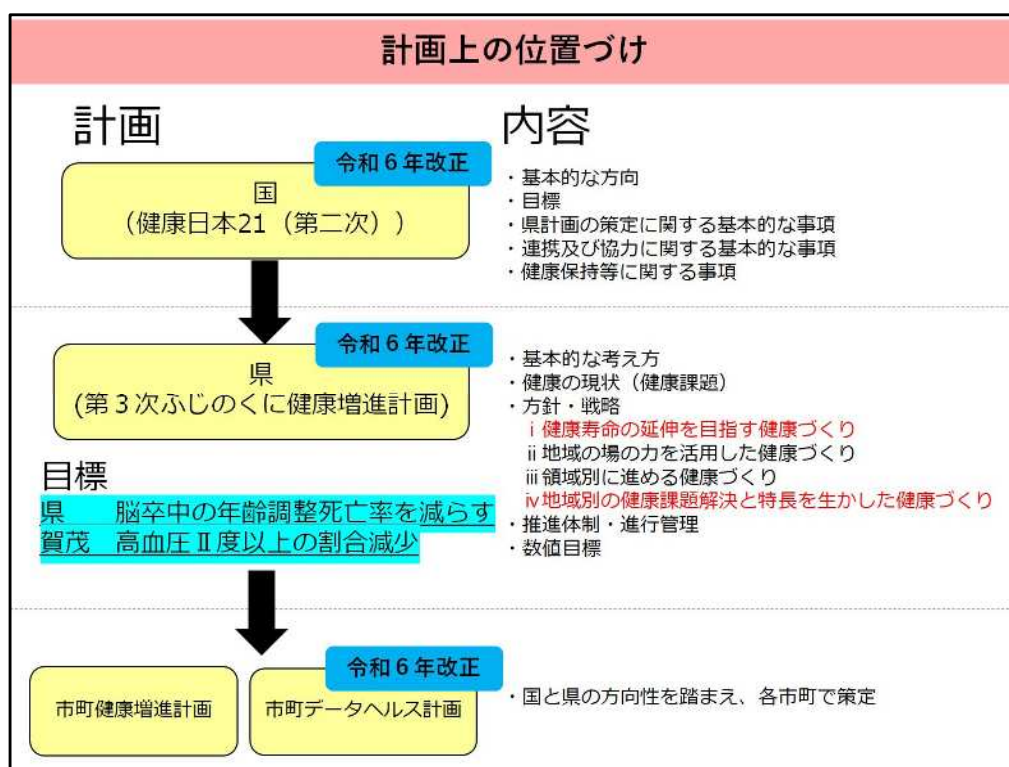
※ここでの有意差は、標準化該当比を用いた値。標準化該当比とは、静岡県全体を100として当該市町の該当出現割合を示した値で、標準化該当比が100より大きい場合は、当該市町の該当者出現割合は静岡県全体より高く、100より小さい場合は、静岡県全体より低いことを示す。図では分かりやすいように統計的に有意になったかを地図に色づけし、市町間の差を示している。

※ポピュレーションアプローチ

集団全体を対象に働きかけを行い、全体としてリスクを下げる取組方法

※ハイリスクアプローチ

健康リスクを抱えた個人を対象に働きかけを行い、個別のリスクを下げる取組方法



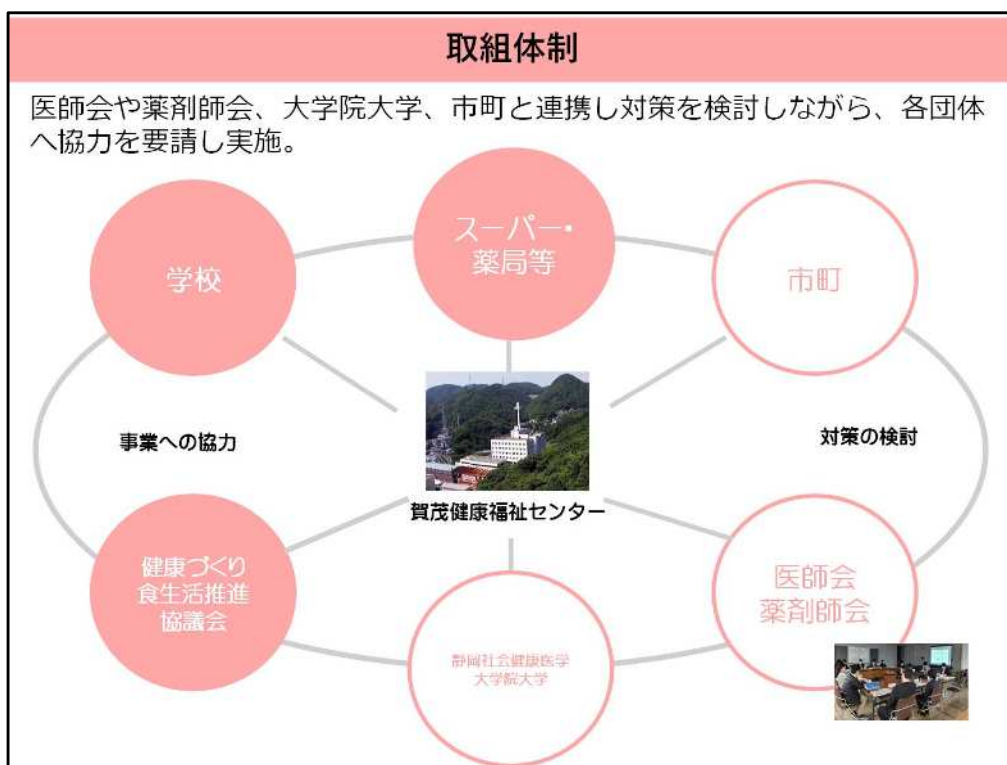
こちらは国・県・市町の健康づくりの基本計画の関係性を示した体系図である。

高血圧対策事業は、中段にある静岡県の「第3次ふじのくに健康増進計画」に健康課題として位置づけられており、**県全体の施策の目標として「脳卒中の年齢調整死亡率を減らすこと」**を掲げるとともに、**賀茂地域についてはさらに「高血圧Ⅱ度以上の割合の減少と循環器疾患による死亡者を減らすこと」**を掲げ、**高血圧対策に重点的に取り組んでいる。**

※第3次ふじのくに健康増進計画

平成30年度から令和5年度までを策定期間とした、国の「国民の健康増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」に対する県の計画。

※高血圧症は血圧値によりⅠ度・Ⅱ度・Ⅲ度と分類され、疾病リスクとの兼ね合いで治療方針が決定される。高血圧Ⅱ度以上は病院や健診等での測定で、収縮期血圧160mmHg以上又は拡張期血圧100mmHg以上の値を指す。



これらのことから、当センターでは、医師会や薬剤師会の先生方、静岡社会健康医学大学院大学等に御意見をいただき、健康づくり食生活推進協議会、学校、スーパーマーケット、薬局等と連携して、市町とともに様々な事業を行っている。

※静岡社会健康医学大学院大学

令和3年度に静岡市に開学。賀茂地域をフィールドとしたかもけん！健診を通じ、賀茂地域の高血圧の分析を実施。

※健康づくり食生活推進協議会

県民の健康増進を目的に活動している住民組織。



例えば、血圧計を一般開放している場所を地図に落とし込んだ①「無料で測れる血圧計マップ」、市町の保健師や栄養士が出演し、高血圧予防について説明する②「高血圧症対策広報番組」、血圧測定設置場所や減塩商品の目印である③「減塩ポップ」、減塩や野菜たっぷりなど健康に配慮した④「減塩レシピ」、賀茂地域統一で減塩をテーマにした献立を提供する⑤「減塩給食」などの取組である。

項目	事業名	内容
ポピュレーション アプローチ	血圧計マップ (R1~)	・自身の血圧値を知ってもらうことを目的に、スーパーや薬局、JAふじ伊豆など、血圧計を一般開放している場所を見える化するため作成。
	高血圧症対策広報番組 (R2)	・市町の保健師や栄養士等が出演し、高血圧についての啓発番組を作成。地元ローカルテレビや県の公式YouTubeチャンネルで放映。
	減塩ポップ (R3~)	・高血圧に対する継続した普及啓発や食の環境整備の観点から、市町や薬局の血圧計設置場所、スーパーの減塩商品陳列棚にポップを設置。
	減塩レシピ (R3~)	・市町やマックスバリュに減塩レシピを配架。減塩レシピの作成にあたり、管内の健康づくり食生活推進協議会にレシピの提供を依頼した。
	スーパーと協働した減塩に関する取組 (R4)	・地域住民の日頃の食と生活を支えるスーパー等と協働し、減塩の日(毎月17日)を目処にイベントを実施。地域住民の減塩への意識向上及び行動変容(減塩商品や野菜の購入など)につなげる。
	減塩給食 (R4)	・子どもの頃からの減塩を進めるため、学校給食の栄養士と連携して賀茂地域統一で減塩をテーマにした献立を提供。

減塩・排塩に関するスーパー等と協働した取組

減塩キャンペーン



減塩ワゴン



減塩放送

毎月17日は「お塩いい塩梅デー」。

実は、河津町は静岡県の中でも高血圧の人が特に多い地域なのを知っていますか。今日は、減塩の味噌や醤油などを手にとって、自然に美味しく減塩してみましよう。

以上、河津町健康増進課でした。



そうした様々な取組の中でも特に今年度力をいれているのが本日のメインである「減塩・排塩に関するスーパー等と協働した取組」である。

この事業は、地元スーパーマーケットや薬局などと協働し、「減塩キャンペーン」「減塩ワゴン」「減塩放送」の3つの取組を組み合わせて、住民の高血圧に対する意識付けや行動変容を狙うものである。令和4年度からマックスバリュ松崎店で先行開始し、今年度からはマックスバリュエクスプレス河津店での取組が始まった。

それでは、そのマックスバリュエクスプレス河津店での取組を取り上げて少し具体的に説明する。

	取組①	取組②	取組③
名称	減塩ワゴン	減塩キャンペーン	減塩の日放送
概要	減塩商品を陳列したワゴンを店頭にて置いていただく。	1日（又は半日）キャンペーンとして、お客様に対し、減塩について健康教育・健康相談を実施する。	減塩について放送していただく。
内容等	お店のワゴンを利用させていただき、減塩商品を集めて陳列する。減塩に関するポップとともに、減塩コーナーとして店頭にて置いていただき、減塩商品の購入につなげる。	短時間の減塩についての講話（一定の間隔で数回実施など）及び減塩商品の紹介、血圧や血管年齢の測定などを行い、減塩商品や野菜等の購入につなげる。	減塩や減塩の日、減塩商品などについて録音したデータをお店で放送していただき、減塩商品や野菜等の購入につなげる。

減塩キャンペーン



減塩レシピなど啓発物配布、減塩や減塩商品への呼びかけ

取組の1つ目「減塩キャンペーン」では、店舗入口付近で来店客に減塩レシピなどの啓発物を配布し、減塩や減塩商品について呼びかけるとともに、希望者に保健師や栄養士による血圧測定や健康相談を実施した。

減塩ワゴン



しょうゆ、みそ、だし、インスタント、スープ・みそ汁、菓子などを陳列

こちらは冒頭のスライドにもあった**取組の2つ目「減塩ワゴン」**である。店舗で販売する減塩商品の特設コーナーを集めて陳列し、先ほどの減塩キャンペーンで紹介した。多くの来店客に実際に減塩商品を見ながら、減塩の方法として「こんな商品があるのか」と気づいていただくとともに、実際にキャンペーン中に商品を買っていただくことができた。

減塩・排塩に関するスーパー等と協働した取組

減塩放送

毎月17日は「お塩いい塩梅デー」。

実は、河津町は静岡県の中でも高血圧の人が特に多い地域なのを知っていますか。今日は、減塩の味噌や醤油などを手にとって、自然に美味しく減塩してみましょう。

以上、河津町健康増進課でした。



毎月17日は「お塩いい塩梅デー」。

塩分の摂りすぎは高血圧の大敵。

野菜を食べると、野菜のカリウムが塩分を体の外に出してくれます。

塩分の多い食事の時こそ、野菜料理をもう一品追加しましょう。

以上、河津町健康増進課でした。

店舗協力により店内放送を実施

取組の3つ目「減塩放送」は、減塩・排塩に関して食生活の改善や行動変容につながる一言アドバイスを店内アナウンスするものである。アナウンス内容は様々な来店客に興味をもってもらえるよう数種類を河津町から提供し、店舗の方でアレンジしたものを「減塩キャンペーン」のときに放送いただいた。

減塩・排塩に関するスーパー等と協働した取組

～参加者の声～

「血压測って記録してみようかな・・・」

「いつもここで血压を測っているよ」

「何かでキャンペーンをやっているの来たよ」

「こんな減塩商品があるんだね」

「レシピ良かったよ！」

「レシピを見て食材を買おうかな」

「早速食材を買ってきたよ」

「減塩商品場所が分かりにくいから、まとまって置いてくれるといいね」

キャンペーンに参加した方々からは、「血压を測って記録してみようかな」「こんな減塩商品があるんだ」などの声をいただき、住民に身近なところで健康意識向上や行動変容につながる働きかけができたと考えている。



この取組は、静岡県が毎月はじめに発行している県民だより10月号の高血圧対策の特集記事に取り上げられ、全県に向け賀茂地域の取組として紹介された。

県民だよりの該当部分はお手元に配布したので、是非御覧いただきたい。

減塩・排塩に関するスーパー等と 協働した取組の事業評価

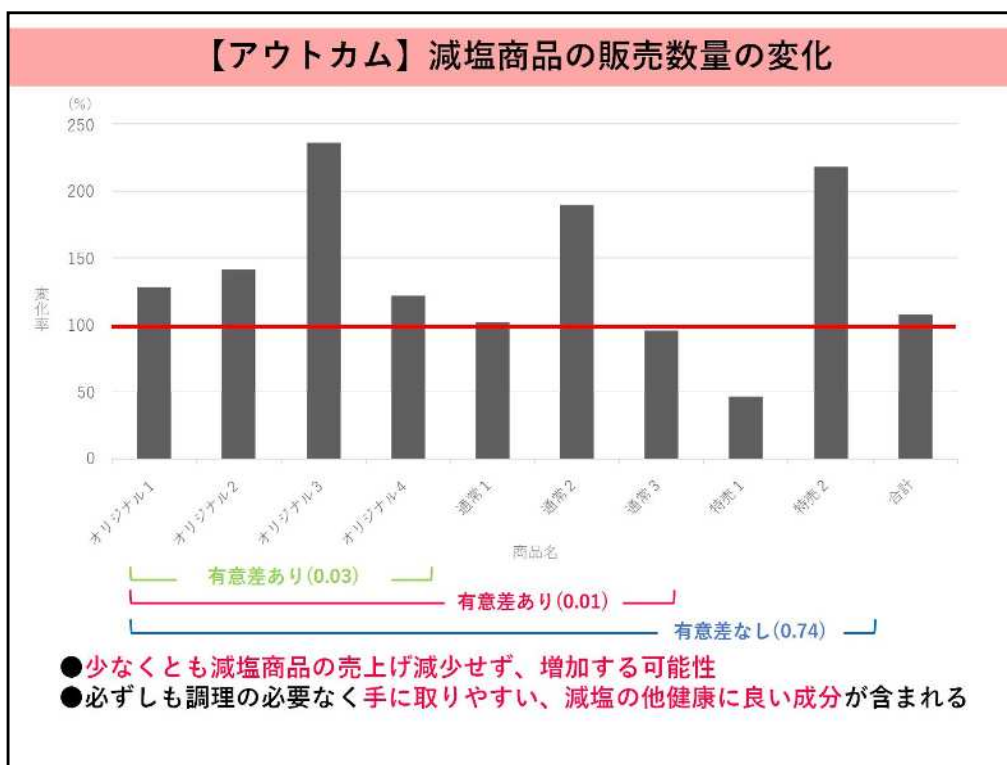
(調査方法一覧)

- 1 取組実績のとりまとめ
- 2 減塩商品の販売数量の分析
- 3 店舗職員を対象としたアンケート
- 4 主要関係者へのインタビュー調査

さらに事業の効果を測り、より良い取組につなげるため、先行実施のマックスバリュ松崎店を対象に事業評価を行った。

具体的には、減塩商品の販売数量の分析、店舗スタッフへのアンケート、主要関係者へのインタビューを行った。

詳細な内容はお手元に配布の資料を御覧頂きたいが、ここでは簡単に調査結果について紹介する。

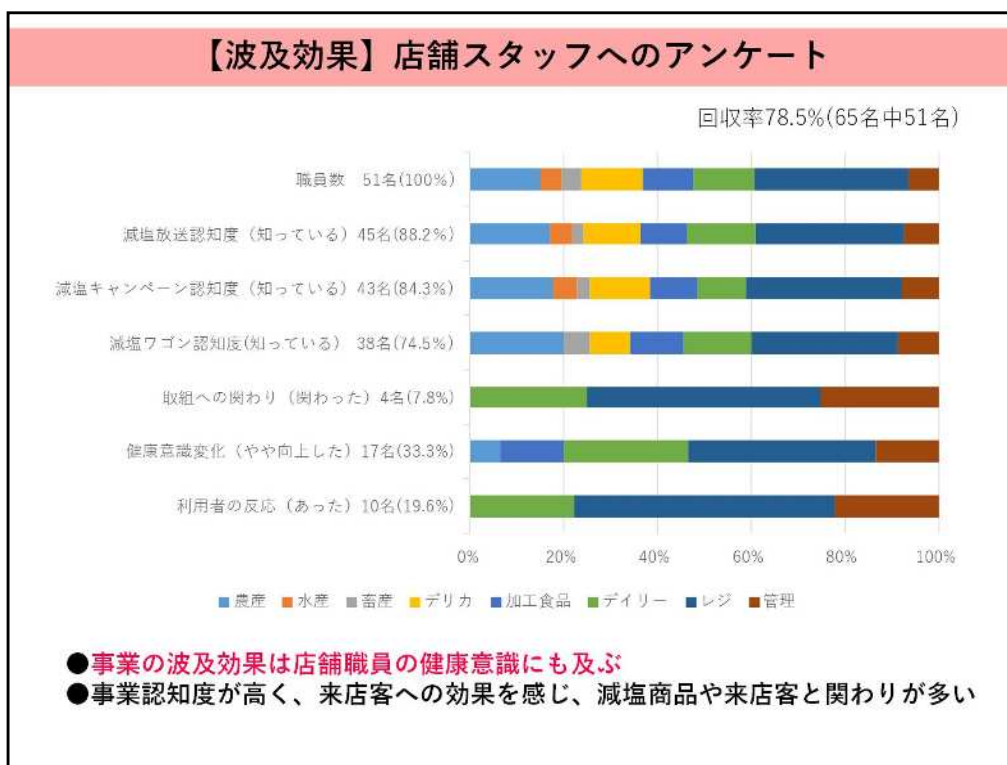


まず、こちらは減塩ワゴンに陳列された商品9品の販売数量を変化を分析したグラフである。

結果として、9品のうち7品が事業開始後の方が販売数量が増加した。また、特売による影響を除くため、特売商品以外の7品とオリジナルブランド4品のグループに限定し、それぞれ統計学的手法を用いて分析したところ、事業開始後の方が平均販売数量が有意に増加していた。

このことから、少なくとも取組は減塩商品の売上げを減少させることなく、むしろ増加する可能性があることが分かった。

販売数量が特に増加した「オリジナルブランド3」の商品は小魚を使用したつまみ、「通常2」の商品は中性脂肪低下成分含有の魚肉ソーセージであり、調理が必要でなく手に取りやすいことや、減塩だけでなく他の健康に良い成分が含まれることも販売数量の増加につながったと考えられた。



次に、こちらは店舗スタッフへのアンケート結果である。取組を開始してから健康意識が「やや向上した」と答えたスタッフは33.3%で、事業の波及効果が店舗スタッフにも及ぶことが分かった。

減塩商品の購入や食事への意識の変化があり、特に効果を高める要因としては、事業の認知度が高いこと、来店客への効果を感じていること、レジなど減塩商品や来店客との関わりが多いことが考えられた。

考察

○調理の必要がないなど手に取りやすく、減塩のほかに健康に良い成分が含まれる商品の販売数量の変化が大きく増加

↓
減塩だけでなく**健康全般に目を向けた取組**、「**手に取りやすさ**」の向上に重点

○会社として減塩への取組を行う可能性を認識

↓
店舗や企業の方針と併走することで地域への定着率UP

○賀茂地域のマンパワー不足・高齢化⇒地域全体で支える官民連携の推進が必要

○事業が行政と店舗の連携強化につながった

↓
高血圧対策における**官民連携の橋渡し役として事業を活用**

これらの調査から考えられたことは主に3つある。

1点目として、手に取りやすく、減塩のほかに健康に良い成分が含まれる商品に販売数量の増加が見られたことから、減塩だけでなく健康全般、かつ「手に取りやすさ」の向上に重点を置く必要があること。

2点目として、店舗から「会社として減塩コーナーを作ることができたら良いがまだそこまでいっていない」との発言があり、企業として減塩への取組を行う可能性を認識していたことから、店舗や企業の方針と併走することができれば、事業の地域への定着率が高まると考えられたこと。

3点目として、賀茂地域は行政のマンパワー不足や高齢化という課題があり、地域全体で住民の健康を支えるために官民連携の推進が必要と考える。松崎町管理栄養士からは「民間企業との関わりについて、（店舗の）受入れが良くないのではとネガティブな意識があったが、取組において店舗は協力的で、関わっているうちに受入れが良くなっていく変化も感じられた。」との発言があった。取組の結果、行政と店舗の連携強化につながったことから、当事業が官民連携の橋渡し役として活用できる可能性が示唆された。

結論

【明らかになったこと】

- ・事業は減塩商品の売上げを減少させず、店舗職員の健康意識にも波及効果がある。

【今後の展開】

- ・事業評価を踏まえ、より効果的かつ定着度の高い取組となるよう働きかける。

**(令和6年度)
各市町ごと1店舗以上と取組予定！
取材をよろしくお願いします！**

最後になるが、結果として、調査からは、当取組は、減塩商品の売上げを減少させず、店舗スタッフの健康意識にも効果があることが分かった。

来年度はこの事業評価を踏まえ、管内全体に事業展開し、各市町ごと1店舗以上と当事業を取り組む予定であり、その際はまた案内させていただくので、是非取材をお願いしたい。

なお、来月3月14日（木）にも10時から12時までマックスバリュ松崎店で減塩キャンペーンを開催する予定なので、こちらも取材をお願いできればと思う。

以上で当センターの重要施策の紹介とする。引き続き賀茂地域一丸となり、住民の健康寿命の延伸に向け、取組を推進する所存であるので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

行事予定表（令和6年3月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	金			賀茂通信（第74号）発行		
2	土					
3	日	職場体験バスツアー 10:00～16:00 賀茂管内				
4	月					
5	火					
6	水				工事現場安全パトロール 9:00～11:30 東伊豆町稲取	
7	木					
8	金	地域おこし協力隊交流会 15:30～17:00 賀茂キャンパス				
9	土					
10	日	津波避難訓練 各市町				
11	月	防災講座 10:00～11:00 聖和保育園				
12	火					
13	水	ドローンを活用した物資輸送の試験飛行 午前中 下田市内				
14	木			減塩キャンペーン 10:00～12:00マックスバリュ松崎店		
15	金	観光人材育成のための社会人講座 13:30～15:00 賀茂キャンパス				
16	土					
17	日					
18	月					
19	火					
20	水					
21	木					
22	金	定例記者懇談会 9:30～ 賀茂キャンパス				
23	土					
24	日	伊豆半島住む人・来る人感謝祭 10:00～15:00 川の駅				
25	月					
26	火					
27	水	第36回賀茂地域広域連携会議 15:00～17:00 賀茂キャンパス				
28	木					
29	金					
30	土					
31	日					

行事予定表（令和6年3月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業研究センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	金					
2	土					
3	日					
4	月					
5	火					
6	水					
7	木					
8	金					
9	土					
10	日					
11	月					
12	火					
13	水					
14	木					
15	金					
16	土					
17	日					
18	月			消費者教育出前講座 8:45～9:35 松崎高校		
19	火					
20	水					
21	木					
22	金					
23	土					
24	日					
25	月					
26	火					
27	水				県立高等学校の在り方に係る地域協議会 13:00～15:00 賀茂キャンパス	
28	木					
29	金					
30	土					
31	日					

定例記者懇談会資料

賀茂地域職場体験バスツアーの開催

(賀茂地域局)

(要旨)

地域の魅力ある企業の存在を知ること、学ぶことや働くことの意義、地元就職が選択肢のひとつとなる職業観・勤労観を形成するとともに、地域に誇りと愛着を持つ「賀茂の子」を育むことを目的とする職場体験ツアーを開催する。

(概要)

参加者	管内中学校1年生～2年生 15名
実施時期	令和6年3月3日(日) 10時～16時
内容	貸切バスを使用して広域的に複数事業所にて職場体験を実施。 中学生が普段接点がない分野の業種で実施。
その他	伊豆下田法人会との共催。

(行程)

時間	事業所	体験内容
10時00分	下田総合庁舎(下田市中531-1)	集合
10時30分～11時30分	①天城カントリー工房 (河津町浜390-1)	木材の切り出し 工場見学
12時00分～13時00分	②開国厨房なかなか (下田市一丁目13-8)	講演 昼食
13時15分～14時15分	③山本建築 (with a tree) (下田市西本郷2丁目5-30)	木材の切り出し もの作り体験
14時40分～15時40分	④神子元ハンマーズ (南伊豆町湊353-6)	講演 スクーバ体験(陸地で)
16時00分	下田総合庁舎(下田市中531-1)	解散

※体験内容は天候や参加者数によって変更する可能性があります。

(その他)

取材の申し込みは、事前に担当へご連絡願います。

担 当 : 地域課 福地

連絡先 : 0558-24-2204

賀茂の子のための

先着
20名

参加
無料

賀茂地域職場体験 バスツアー



地域の魅力ある企業の存在を知ること、地域に誇りと愛着のある「賀茂の子」を育むことを目的とする職場体験ツアーを開催します

3月3日 日

10:00-16:00



集合・解散場所 静岡県下田総合庁舎（下田市中531-1）

対象者

賀茂地域の中学1年生から2年生

体験先



①天城カントリー工房（河津町）

②開国厨房なかなか（下田市）



③山本建築（下田市）



④神子元ハンマーズ（南伊豆町）

申込方法

QRコードからお申し込みください



申し込み締め切り 2月19日 月



昼食に
お弁当がです



「KAMO ハート」
トートバックを
プレゼント

主催：静岡県賀茂地域局地域課、（一社）伊豆下田法人会 お問い合わせ：静岡県賀茂地域局地域課 【TEL】 0558-24-2204
追加情報は、賀茂地域局 Instagram (shizuoka.pref_kamo) をご確認ください

地域おこし協力隊交流会の実施について

(賀茂地域局)

1 目的

賀茂地域1市5町では、現在38名（県全体約100名）の地域おこし協力隊がおり、それぞれが各市町で活動しているが、これまで市町の枠を超えた交流の機会がほとんどなかった。

今回、下記のとおり交流会を実施し、各市町の協力隊員が相互に意見交換を行うことで、今後の人脈形成や地域おこしに向けた新たな発想・アイデアの創出につなげるとともに、地域活性化や定住率の向上に資する。

2 実施内容

(1) 日時

令和6年3月8日（金）午後3時30分から5時まで

(2) 場所

賀茂キャンパス（静岡県下田総合庁舎 別館2階）

(3) 対象

賀茂地域で活動する現役の地域おこし協力隊

(4) 内容

小グループ（エリアごと、分野ごとなど）に分かれて意見交換

(5) 意見交換の内容（案）

- ① 任務・活動紹介
- ② 移住前のイメージと比較した賀茂地域の印象
- ③ 今後の展望、困っていること、相互に連携（コラボ）できそうなこと
- ④ 地域おこしに向けた提案（もっとこうしたらいいのと思うこと）
- ⑤ 行政（市町、地域局等）に求めること

※取材いただける場合は、事前に以下担当まで御連絡ください。

担 当：地域課 野村
連絡先：0558-24-2202

地域おこし協力隊



交流会

今後のコラボ活動の
きっかけになるかも

近隣市町の
協力隊員と交流!

参加
無料

2024 / 3 / 8 (金) 15:30 ~ 17:00

賀茂キャンパス(下田市中531-1 下田総合庁舎別館2階)

15:00 ~ 受付

15:30 ~ 交流会

18:00 ~ 懇親会



対象

賀茂地域で活動する
現役の地域おこし協力隊

締切

2月22日(木)

- 参加者は各市町でとりまとめて御報告願います。
- 懇親会の会場等は、参加者決定後にお知らせします。

お問い合わせ

静岡県賀茂地域局(担当/野村)



0558-24-2202



kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp

令和6年2月22日

定例記者懇談会資料

賀茂キャンパス活用プログラム「静岡県立大学 社会人講座」第36回講座

(賀茂地域局)

(要旨)

「静岡大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学と賀茂地域1市5町の相互連携に関する協定」に基づき、賀茂キャンパスにおいて、静岡県立大学による「観光人材育成のための社会人講座」の第36回講座を令和6年3月15日(金)に実施する。

※参加費は無料、毎月1回開講予定(単発の参加可)

(概要)

日時	第36回 令和6年3月15日(金) 13:30~15:00 ※毎月1回継続実施
会場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス ※別館1階玄関からお入りください。 ※駐車場台数に限りがあるため、公共交通機関の利用・車の乗り合わせに協力願います。
内容	講師：静岡県立大学大学院 ツーリズム研究センター カウクルアムアン アムナー 准教授 演題：「アジア向け観光商品促進による地域活性化」
対象	県民
参加費	無料
申込	 QRコードからの申込、もしくは、 静岡県立大学ツーリズム研究センターのメール：trc@u-shizuoka-ken.ac.jp、 又はFAX：054-264-5476に氏名、所属、電話番号を記入の上、お申込みください。 ※定員に達した場合は、参加をお断りすることがあります。
問合せ先	賀茂地域局地域課 電話：0558-24-2204 主催：静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科附属ツーリズム研究センター 共催：静岡県賀茂地域局

担当：賀茂地域局地域課

連絡先：0558-24-2204

賀茂キャンパス 観光人材育成のための 社会人講座

主催：静岡県立大学ツーリズム研究センター
協賛：静岡県賀茂キャンパス活用推進委員会

2023年度 第36回(毎月1回開講します)

2024年3月15日(金) 13:30～15:00

静岡県下田総合庁舎内賀茂キャンパス(下田市中531-1)

アジア向け観光商品促進による地域活性化

講師：カウクルアムアン アムナー

静岡県立大学大学院ツーリズム研究センター准教授
タイ国出身 首都大学東京博士課程観光科学域修了。
和歌山大学を経て、2019年より静岡県立大学経営情報
学部准教授
研究テーマは「日本とタイに繋がる茶観光の展開」



日本への訪日旅行市場シェアによると、新型コロナウイルス感染症拡大前はアジア5カ国(中国、韓国、香港、台湾、タイ)からの旅行者が85%を占めていた。訪日アジア人観光客が増加しているが、コロナ後にはどのように観光地域を再生するのか、インバウンド市場を促進するために日本を訪れるアジア観光客をいかにターゲットにするのかを考えていきます。当講座ではアジア人観光客の観光マーケティングに対して観光商品をどのように発展させるのかを解説します。

働きながら学べる最新の観光情報。無料で参加できます。

メール、FAXもしくはQRコード
からお申込みください。

静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科付属
ツーリズム研究センター

Mail: trc@u-shizuoka-ken.ac.jp
FAX : 054-264-5476



令和5年度 津波避難訓練

統一スローガン 地震だ、津波だ、すぐ避難！ ～少しでも早く、少しでも高く～

(賀茂地域局)

1 概要

東日本大震災の教訓及び第4次地震被害想定等を踏まえ、県内の沿岸地域において、3月10日を統一実施日として津波避難訓練を実施し、津波避難の習熟を図るとともに、成果や課題を整理し、今後の取組に生かしていく。

2 重点項目

- (1) 緊急避難場所・避難路の確認
- (2) 即時避難の実践・検証
- (3) 避難行動要支援者への支援体制の検証

3 訓練日程

(1) 市町別訓練

区分 市町	日 時	市町職員以外の 参加者	参加人数 (人)	
			R5 予定	R4 実績
下田市	3月10日(日) 9:00~12:00	住民、消防団	4,208	2,142
東伊豆町	3月10日(日) 9:00~12:00	住民、消防団	334	859
河津町	3月10日(日) 10:00~11:00	住民	815	594
南伊豆町	3月10日(日) 10:00~12:00	住民	1,004	30
松崎町	3月10日(日) 10:00~12:00	住民、消防団	1,493	1,264
西伊豆町	3月10日(日) 8:00~11:30	住民、消防団	1,845	1,769
計			9,699	6,658

注) 訓練会場等の詳細については、各市町の防災担当までお問い合わせください。

(2) 特徴のある訓練

別紙のとおり

《参考》津波対策推進旬間

1 趣旨

津波に対する正しい知識の普及を図るとともに、指定緊急避難場所及び津波避難施設や避難路などの点検等を通じて、津波避難における課題を再確認する。

2 期間

令和6年3月2日(土)～3月11日(月)

担当：危機管理課

連絡先：0558-24-2004

<別紙>

市町名	特徴のある訓練		備 考
	実施地区等	訓 練 内 容	
下田市	中一区	・津波避難ビル（プレバール西中）への避難訓練	
	下田地区 合同	・下田中学校への避難者の安否確認 ・避難所運営組織の立上げ訓練	
東伊豆町	熱川地区	・海岸にいる観光客への避難呼びかけ訓練	熱川海岸で実施。

※訓練の会場や内容の詳細については、各市町防災担当課にお問合せください。

各市町連絡先一覧

市町名	担当課	連絡先
下田市	防災安全課	0558-36-4145
東伊豆町	防災課	0557-95-1103
河津町	防災課	0558-34-1112
南伊豆町	総務課	0558-62-1111
松崎町	総務課	0558-42-3963
西伊豆町	防災課	0558-52-1965

防災講座の開催

(賀茂地域局 危機管理課)

(目的)

賀茂地域局危機管理課では、防災における「自助・共助・公助」の基本を踏まえた地域防災力強化のため、自主防災組織、教育機関、ボランティア組織等、地域の防災を担う組織と連携して、防災講座や連絡会議等の開催、訓練・研修等を実施している。

(概要)

実施日時	実施場所	実施対象	内容等	備考
3月11日(月) 10:00~11:00	聖和保育園 (松崎町)	3~5歳児	防災ダック	

(計1回)

(講座内容(抜粋))

【防災ダック】(対象:幼稚園・保育園・小学校低学年)

表面に身の回りの危険などのイラスト、裏面にポーズをとっている動物のイラストが描かれたカードを使います。指導者がカードを出し、子どもたちが一斉にその危険から身を守るポーズをとります。繰り返し遊んでいるうちに、「最初の第一歩」が自然と身につくようになります。



(お願い)

学校での防災講座を取材する際には、各学校まで取材を行う旨をご連絡くださいますようお願いいたします。

講座の内容については、変更になる場合があります。

講座の内容に関するお問合せは下記担当までお願いいたします。

担 当：危機管理課 鈴木

連絡先：0558-24-2004

松崎町で減塩キャンペーンを実施します

(賀茂健康福祉センター)

(目的)

- ・ 高血圧有病者が多い賀茂地域では、地域住民への減塩・排塩に関する普及啓発が重要です。そこで、地元スーパーマーケット等と協働して減塩の日（毎月17日）を中心に取組を実施し、地域住民の意識向上と行動変容につなげています。
- ・ 取組の一環として、高血圧や減塩・排塩、野菜摂取などについて地域住民に普及啓発することを目的に、**マックスバリュ松崎店で減塩キャンペーン**を実施します。

(概要)

- 1 日 時 令和6年3月14日（木）午前10時から12時まで
- 2 場 所 マックスバリュ松崎店（賀茂郡松崎町江奈303-1）
- 3 内 容 血圧測定、ベジチェック測定、健康相談、啓発物配布
- 4 その他
 - ・ **取材いただける場合は、事前に下記担当まで御連絡ください。**
 - ・ 賀茂地域では、地元スーパーマーケット等と協働した減塩・排塩に関する地域の環境整備を令和4年度から進めています。取組の内容は、①減塩ワゴン（減塩商品を陳列したワゴンの設置）、②減塩キャンペーン（健康教育・健康相談の実施）、③減塩放送（減塩・排塩についての店内放送）で、減塩の日（毎月17日）を中心にこれらを組み合わせて実施しています。



減塩ワゴン



減塩キャンペーンの様子

担 当：健康増進課 海野
連絡先：0558-24-2037

工事安全パトロールの実施

(賀茂農林事務所)

(目的)

賀茂農林事務所発注工事における労働災害事故の防止を図り、工事現場で一層の安全確保の意識を高めるため、現在施工中の工事現場をパトロールし、受注者等に安全確保を指導する。

(概要)

1 日 時

令和6年3月6日(水) 午前9時から午前11時30分まで

2 場 所

東伊豆町稲取

3 参加者

三島労働基準監督署下田駐在事務所長、下田建設業協会安全委員、賀茂農林事務所職員

4 パトロールする工事現場

工事箇所	工 事 名	工 事 概 要
東伊豆町稲取	令和5年度中山間総合(中山間・一般) 東河地区稲取排水路2工事	排水路工 (L=121.6m)

5 その他

集合場所 下田建設業協会(下田市東本郷2丁目7番1号)

集合時間 午前9時00分

担 当：総務課

連絡先：0558-24-2075

令和6年2月22日

定例記者懇談会資料

2024年上半期の定置網漁海況予測

(水産・海洋技術研究所伊豆分場)

水産・海洋技術研究所伊豆分場は、神奈川県水産技術センターと共同で、2024年上半期(1~6月)の伊豆東岸定置網(相模湾)における漁海況を下表のとおり予測しました。

海況	黒潮はA型基調で推移。蛇行北上部は概ね伊豆諸島海域の西側沿岸水温は「平年並み」~「高め」、黒潮からの暖水波及時には「極めて高め」
マアジ	来遊量：1歳魚は大きく上回る、0歳魚は不明 魚体：尾叉長20cm前後 5月頃から0歳魚が漁獲
マサバ	来遊量：前年並み~下回る 魚体：尾叉長30~35cm
ゴマサバ	来遊量：前年並み~下回る 魚体：尾叉長30cm以上及び25~30cm
マイワシ	来遊量：前年並み~下回る 魚体：被鱗体長13~15cm
カタクチイワシ	来遊量：1歳魚は前年並み、2歳魚は前年を上回る可能性がある 魚体：被鱗体長8~12cm及び12cm以上
ブリ	来遊量：前年並み~下回る 銘柄ぶり・わらさ主体

*水温の平年偏差の目安

かなり低め：~-2.5℃低め：-2.4~-1.5℃、やや低め：-1.4~-0.5℃、平年並み：±0.4℃、やや高め：0.5~1.4℃、高め：1.5℃~2.4℃、かなり高め2.5℃

担当：水産・海洋技術研究所伊豆分場
普及班 岡田
連絡先：0558-22-0835

消費者教育出前講座の実施(高校生等)

(賀茂広域消費生活センター)

(概要)

令和4年4月から成年年齢が引き下げられ、18歳になると未成年者取消権の保護対象から外れることとなり、未成年者取消権がなくなる若者が悪質事業者のターゲットにされることが懸念されています。

つきましては、高校生や専門学校生で成人となる生徒の消費者被害を防止するため、以下のとおり県から講師を派遣して出前講座を実施します。

(出前講座の予定)

日 時	場 所	対 象
令和5年5月23日(火) 13:30~13:50	県立下田高校【実施済】	保護者 210名参加
令和5年5月31日(水) 14:50~16:20	下田看護専門学校【実施済】	1年生 27名参加
令和5年7月13日(木) 11:00~11:50	県立伊豆の国市特別支援学校 伊豆松崎分校【実施済】	1~3年生 15名参加
令和5年9月27日(水) 17:40~19:00	県立下田高校(定時制)【実施済】	1~4年生 12名参加
令和6年3月18日(月) 8:45~9:35	県立松崎高校	1~2年生

(内容)

- 成年を迎えるにあたって必要な消費生活の基礎知識
 - ・ 契約やお金の基礎知識
 - ・ 若者が狙われやすい商法
 - ・ ネットショッピングの注意点
 - ・ 暮らしとお金
 - ・ 消費生活センターの紹介 など

担当： 倉島

連絡先： 0558-24-2206